

『こみの株式会社』の実践

—地産地消の株式会社を設立してお金との望ましいつきあい方を学ぶ—

香川県木田郡三木町立小菫中学校教諭 関 智子

事例の位置付け	実施学年	第1学年～第3学年
	教科等	総合的な学習の時間*
	単元名	地域交流 「お金との望ましいつきあい方」

*本中学校は全校生7名(第1,第3学年各2名,第2学年3名)のへき地小規模校である。そのため、総合的な学習の時間は全校生で取り組んでいる。

ガイドブックの利用にあたって

ガイドブックの利用にあたって

生活設計・家計管理

生活設計・家計管理

金融や経済のしくみ

金融や経済のしくみ

消費者保護・トラブル未然防止

消費者保護・トラブル未然防止

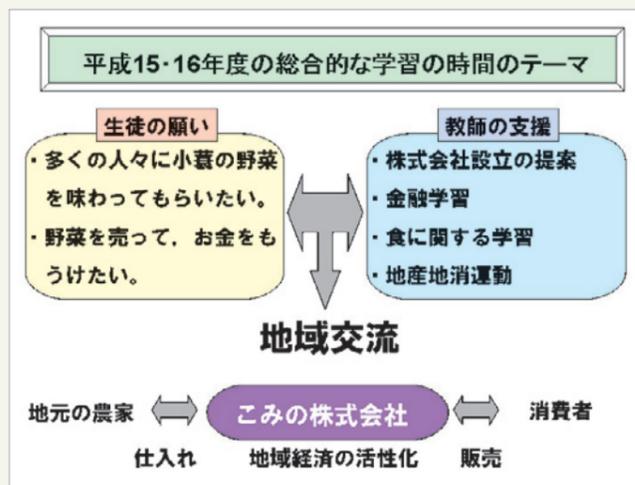
キャリア教育

キャリア教育

ねらい

- 1 地域経済のなかで実際の経済活動を体験することを通して、金融の仕組みを学び、将来において健全で豊かな経済生活を営むための素質を養う。
- 2 地域の産業の特色や人々の生き方から、お金やものの価値を実感し、大切に扱おうとする態度と能力を培う。

展開の特色



取り組みの概要

平成15年度の取り組みの概要は以下の通りである。

- 1 株式会社のしくみ、地産地消についての事前調べ (平成15年5月)
 - ・関係機関が発行する書物やパンフレット、インターネットの関係サイトから調べる。
- 2 会社設立趣旨説明会 (平成15年6月15日)
 - ・関係各機関(地元JA、産直販売農家、地区農家)に趣旨説明し、協力を依頼する。
 - ・投資家(地域住民と教職員)を募り、活動の内容と方針を説明する。
- 3 第1回株主総会 (平成15年6月23日)
 - ・株式会社の構成や株の説明を行い、販売のシステムを整える。
 - ・社訓「礼儀正しく、大きな声で!やる気・協力・一致団結!お客様を満足させよう!社員一人一人のアイデアを生かせ!不況をふっとばし儲けるぞ!」
- 4 仕入れ・販売活動開始 (平成15年6月～10月)
 - ・営業部の活動…電話による仕入れ依頼 (毎週木曜日の昼休み)
 - 野菜や米などの仕入れ作業 (毎週金曜日の総合の時間)
 - 学校に集荷、出荷準備 (毎週金曜日の放課後)
 - 出荷・販売・売れ残りの処理 [漬物づくりに挑戦] (毎週土曜日の早朝、地元JAの「とれとれ市」)

- ・経理部の活動…資本金(8万5千円)の管理・会計簿上の記録をする。
仕入れ日に、農家への仕入れ金を営業部に渡す。
伝票と領収証、お金を管理し、正確に記録する。
- ・宣伝部の活動…チラシやポスターなどの広告を作成し、「とれとれ市」に貼る。
調理レシピの作成など各商品の宣伝の工夫をする。
会社のイメージ調査や消費者の声を聞く。

- 5 第2回株主総会 (平成15年9月8日)
 - ・株主を招き、前期の決算報告と後期の方針を述べる。
- 6 第3回株主総会 (平成15年11月6日)
 - ・株主に後期の決算報告をして、株の払い戻し、利子と前・後期の配当を渡す。

平成16年度も「こみの株式会社」2年目の挑戦—地産地消運動の広がりをめざして—というテーマで、平成15年度の成果と課題を踏まえた活動に取り組んだ。平成16年度は、新たに同世代にも地産地消を広げるという目標を掲げ、他校の文化祭で野菜販売のフリーマーケットに挑戦した。

今日、地域ぐるみで子どもたちを育てようという地域の意識の高まりが見られるようになった。そのため、学校教育への理解と支援が地域社会から多く得られるようになり、さまざまな教育場面で成果を上げている。学校現場ではこのような社会の支援体制をどう有効に活用し、教育の成果を上げるかが問われている。金融教育を進めるにあたって、これは小規模校だからできると捉えるのではなく、各学校の特性や生徒、地域の実態を踏まえて、それぞれの学校独自のカリキュラムを組むことが大切である。いずれにしても、関係各機関、地域社会の協力や支援を得ることで、教育の成果が一層上がると確信している。

構成

前期の「総合的な学習の時間」の配当時間…35時間

- 第1次 株式会社を設立しよう……………(6時間)
- 第2次 実際の経済活動に挑戦しよう……………(26時間)
- 第3次 活動を振り返り、成果と課題を探ろう…(3時間) <本時1/3>

事前の準備

- ・本時の学習の導入部で使う資料「初めての給料—先生たち編」を作成しておく。

次時の予告,用意

- ・今年度の学習をディベートによって振り返り、成果や課題を整理して来年度の総合的な学習につなげる。

本時の展開

本時の目標 お金を大切に扱い、節度と計画性のあるつきあい方を実践しようとする意識をもつことができる。

学習内容及び学習活動	
導入	① 「こみの株式会社」の給料をもらったときの感想と、現在の給料の行方について発表する。
課題設定	② 本時の学習課題をつかむ。 お金のよりよいつきあい方を考えよう。
展開	③ ロールプレイを用いて、お金のつきあい方を考える。 ① 場面をつかみ、役の準備をする。 宇部：すぐに商品を購入したいタイプ 貝原：たいへん気がよいタイプ 田辺：慎重に考えるタイプ ② 役を交代しながら、ロールプレイを行い、異なる考え方のタイプを経験する。
まとめ	④ ロールプレイをして気づいたことや感想を発表し合う。 ひょっとしたら自分自身のなかに3タイプ全ての考え方があるかもしれない。お金を使うときには周りに迷惑をかけたり将来の自分が困ったりしないように慎重に考えよう。

教師の支援、指導上の留意点	資 料
<ul style="list-style-type: none"> 給料袋を示すことで、これまでの学習を想起させる。 互いに発表を聞き、これまでの学習によってお金に対する意識が高まっていることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 給料袋
<ul style="list-style-type: none"> 簡単なクイズ「初めての給料—先生たち編」を出すことでリラックスした雰囲気づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> クイズカード
<ul style="list-style-type: none"> 3タイプそれぞれの考え方をつかみやすくするため、ワークシートを用いる。 役に馴染めるようにするため、生徒たちが「こみの株」の活動で得た給料 2,300 円を持って買い物に出かけたという場面を設定する。 3タイプを経験させることで、それぞれのタイプの考え方が自己の内面から引き出せるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート NO.1 (→ p.176) タイプを示すネームタグ
<ul style="list-style-type: none"> 友達の発表を聞くことで、個々の生徒が自分のお金についての考え方を客観的に振り返ることができるようにする。 教師が初月給をもらったときの体験談を話すことで、お金を大切にする気持ちを膨らませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート NO.2 (→ p.177) 初月給を記念した写真

評価の観点

- ① ものやお金を通じて人とのつながりを意識することで、周囲の人々に感謝する気持ちや態度が育ったか。
- ② 地域の産業に興味・関心をもち、地産地消運動や経済活動を通して地域の将来像を描くことができたか。
- ③ 自分たちの会社の課題や社会的責務を見出し、課題解決のためのよりよい方策を考え、協力して実践を積み重ねることができたか。
- ④ 金銭処理や情報処理における技術の向上をめざし、より合理的な方法を追求しながら正確に行おうとする態度や基礎的な能力が身についたか。
- ⑤ 個の人間として自立しようとする自分、社会の一員としての自覚をもち社会に貢献しようとする自分をめざした努力を積み重ねることができたか。

memo・注

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

参考資料

☆ 門脇厚司『親と子の社会力—非社会化時代の子育てと教育』朝日新聞社, 2003年

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ワークシート No.1

やってみよう！ ロールプレイ！！

「今から君は
〇〇くんになる」

「お金とのつきあい方を考えよう」

名前 _____

【 役の設定 】	【 場面 】
宇部…欲しいものは すぐ手に入れたがる	この3人が、会社からもらった給料2,300円だけを サイフに入れて、街に遊びに行きました。
貝原…すごく気前がいい	ぶらぶらしていると、宇部は、とても気に入った〇〇
田辺…しっかり者	を見つけました。値段を見てみると、なんと3,000円！ どうしても〇〇が欲しい宇部は……？

◇ 宇部(くん・さん)になりきって、「これからどうしますか？」



Large blue speech bubble for writing the answer to the first question.

◇ そのとき貝原(くん・さん)は、

◇ そのとき田辺(くん・さん)は、



Large blue speech bubble for writing the answer to the second question.



Large blue speech bubble for writing the answer to the third question.

◇ さて、宇部(くん・さん)は、「どうしますか？」



Large blue speech bubble for writing the answer to the fourth question.

◇そして貝原・田辺(くん・さん)は？



Large blue speech bubble for writing the answer to the fifth question.

ワークシート No.2

「お金とのつきあい方を考えよう！」

名前 _____

☆今日の活動をふりかえって思ったことや感じたことを書きましょう！

Large blue-lined area for writing reflections on the activity.

☆今日の活動は楽しかったですか？

- () 楽しかった
- () だいたい楽しかった
- () あまり楽しくなかった
- () 楽しくなかった

☆今日の活動の内容はよくわかりましたか？

- () よくわかった
- () だいたいわかった
- () あまりわからなかった
- () わからなかった